

平成27年三条市議会第3回定例会請願文書表

受理番号	第 10 号	受理年月日	平成27年6月19日
件名	安全保障関連法制定の中止を求め る請願		
紹介議員	武藤元美君 伊藤得三君		

請 願 文

【請 願 理 由】

今国会で集団的自衛権を認める一連の法案の審議、成立がはかられようとしています。

今多くの国民に、日本国憲法が禁じている海外での武力行使に大きく踏み出すのではないかという不安と危惧が広がっています。

政府が国会に提出した安全保障関連法案は、これまで自衛隊が行ってはならないとされていた戦闘地域にも派兵を認めるものとなっています。また、自衛隊の武器使用についても、自己防護(正当防衛)に限られていたものから大きく拡大されます。これらのことから、自衛隊の任務の危険性が高まり、戦死者が出ることも懸念されます。

さらに、政府が存立危機事態と判断すれば集団的自衛権が発動され、重要影響事態と判断すれば日本周辺に限らず世界中のどこでも米国の戦争支援に踏み出す内容となっているほか、国際平和支援法という名で、自衛隊海外派兵の恒久法がつくられようとしています。このように安全保障関連法制定で、日本はいつでもどこでも戦争に参加する国になってしまいます。

これに対し、去る6月4日の衆議院憲法審査会に参考人として呼ばれた与党推薦の憲法学者を含む3氏がそろってこの法案が違憲であると表明しました。さらに法案を強行しようとしている安倍内閣の政治姿勢に対して、「立憲主義にもとる」と述べるなど、この法案が憲法違反だということが明らかになりました。

ことは、戦後70年の節目の年です。県内でも長岡空襲や模擬原爆による被害を初め、多くの戦死者を出したことを忘れてはなりません。また、日本が戦争をする国へと踏み出すことを看過することはできません。

以上のことから、次の事項について強く請願いたします。

【請 願 事 項】

- 1 安全保障関連法制定を中止するよう、政府に意見書を提出していただくこと。

付託委員会

総務文教常任委員会